



岡山商工会議所青年部
Anniversary



商工会議所青年部

Y E G 宣言

私はYEGとして、夢に挑む。
私たちはYEGとして、地域を愛し、日本を愛する。
すべてのYEGは、連帯の証となる。

綱 領

商工会議所青年部は
地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担い
次代への先導者としての責任を自覚し
地域の経済的発展の支えとなり新しい文化的創造をもって
豊かで住みよい郷土づくりに貢献する

指 針

- われわれ青年部は
- 一、地域を支える青年経済人として先導者たる気概で
研鑽に努めよう
 - 一、国際社会の一員であるべき
国際人としての教養を高めよう
 - 一、豊かな郷土を築くために
創意と工夫 勇気と情熱を傾けよう
 - 一、文化を伝承しつつ
新しい文化の創造に向かって歩を進めよう
 - 一、行動こそ時代を先駆けるべき青年の責務と信じ
力を合わせ 国の礎となろう

岡山商工会議所青年部 創立30周年記念誌

OKAYAMA YEG 30TH ANNIVERSARY

目次 contents

YEG宣言 綱領 指針	01
目次	02
ご挨拶	05
岡山商工会議所青年部 会長 和氣伸吉	
ご祝辞	06
岡山県知事 伊原木 隆太 様	
岡山市長 大森 雅夫 様	
岡山商工会議所 会頭 松田 久 様	
日本商工会議所青年部 会長 西村 昭宏 様	
歴代会長ご挨拶	10
平成29年度 第22代 会長 佐藤 一平	
平成30年度 第23代 会長 塚本 晃久	
令和元年度 第24代 会長 仁戸田 昌典	
令和2年度 第25代 会長 小川 大志	
令和3年度 第26代 会長 光森 敬祐	
岡山商工会議所青年部年表	16
岡山商工会議所青年部、西大寺商工会議所青年部年表 組織図（平成29年度～令和4年度）	
活動紹介	21
あきんど塾	
岡山市民の日	
政策提言	
YEG支援隊	
事業一覧	
第6回 全国ゴルフ大会 岡山YEG30周年記念大会	
コロナと向き合う	
長期ビジョン検証（2018～2022）	42
新長期ビジョン（2023～2027）	44
協賛	47

岡山商工会議所青年部 創立30周年記念式典プログラム

岡山商工会議所青年部 創立30周年記念式典、祝賀会
開催日／令和5年2月25日(土) 開催時間／15:30～
開催場所／ホテルグランヴィア岡山

PROGRAM

■会場3階

1部：式典

15:30 開会

開会宣言

「君が代」斉唱

商工会議所青年部の歌 斉唱

「綱領」朗読・「指針」唱和

YEG「長期ビジョン」唱和

会長挨拶

岡山商工会議所青年部 会長

和氣伸吉

来賓紹介

来賓祝辞

岡山県知事

伊原木隆太 様

岡山市長

大森雅夫 様

岡山商工会議所 会頭

松田久 様

日本商工会議所青年部 会長

西村昭宏 様

祝電披露

調印式

大韓民国 富川商工会議所・岡山商工会議所

歴代会長表彰

歴代会長代表挨拶

岡山商工会議所青年部 第22代会長

佐藤一平

新長期ビジョン発表

閉会宣言

2部

17:10 岡山市民の日の歩み

政策提言 手交式

30周年記念事業紹介

閉会

■会場4階

祝賀会

18:00 開会

会長挨拶

岡山商工会議所青年部 会長

和氣伸吉

来賓挨拶

岡山商工会議所 副会頭

森健太郎 様

岡山商工会議所女性会 会長

高田美紀子 様

乾杯

岡山商工会議所青年部 第4代会長

石井英行

ギネス中継

歴代会長ムービー

閉会挨拶

岡山商工会議所青年部 実行委員長

上野雅史

20:00 閉会



ご挨拶・ご祝辞



ご挨拶



岡山商工会議所青年部 会長
和氣 伸吉

創立30周年という大きな節目を迎える本年度、岡山商工会議所青年部は、令和4年度「Paradigm ～次なるステージへ～」のスローガンを掲げ、350名の会員が一丸となって活動しております。

このような大きな節目の年を迎える事が出来たのも、本日までご臨席を賜りましたご来賓の皆様、全国の商工会議所青年部の皆様、そして地域の皆様方のご支援とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

岡山商工会議所青年部には、創立25周年時に発表した「岡山YEG長期ビジョン(2018～2022)」があります。令和2年度には新型コロナウイルスが感染急拡大を始め、会議や活動の自粛が続き、思うように動けない日々が続きました。その中でも我々は長期ビジョンに基づき、郷土の名も無きHEROESとしてできる事は何か、模索しながら新しい形を探し求めて参りました。令和4年度岡山商工会議所青年部は、このような時代だからこそ、諸先輩方の守ってこられた岡山商工会議所青年部の「古き良き伝統や考え方」を現代に融合させ、次なるステージを創造することが必要だと考え活動を行っております。前へ前に進むだけではなく、今までの見方や捉え方を変えれば違うものが見えてくる。そのようなことを考えながら、今まで以上に幅を利かし邁進して参りました。

また、平成24年3月に我々の提言により制定された「6月1日岡山市民の日」につきましては、新たに実行委員会の設立もされました。そして「6月1日岡山市民の日」の制定を受け10年目の節目の年でもあります。今後も市民の皆様と共に、岡山市への愛着と誇りを育むための活動を継続して参ります。

この度、創立30周年の節目に進化を遂げるべく、岡山商工会議所青年部の発展、更なる輝かしい未来を想像して日々成長していきたいと考えております。

本事業が岡山商工会議所青年部にとって大きな意味のある創立30周年事業となり、今後益々の前進をお誓いして、ご挨拶とさせていただきます。

ご 祝 辞



岡山県知事

伊原木 隆太 様

岡山商工会議所青年部の創立30周年を心からお喜び申し上げます。

青年部の皆さま方におかれましては、商工会議所活動の一翼を担われ、さまざまな時代の変化に対応しながら、幅広い活動を通じて、地域経済の発展や活力あふれる地域づくりに多大な貢献をいただいております、そのたゆまぬ努力に対し厚くお礼申し上げます。

特に、近年は、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制約を受ける中、感染対策にご配慮いただきながら、地域振興と地域経済活性化のため、前向きに活動されていることは、誠に意義深く、その熱意ある取り組みに対し、深く敬意を表します。

さて、私は、就任以来、「教育再生」と「産業振興」の二本柱を本県発展のエンジンに据え、さまざまな施策を推進してまいりました。その結果、これら二つが生み出す好循環の流れは、ゆっくりではありますが力強く着実に前に進んでいると実感しております。

特に、産業の振興については、2年続けて、1,000億円を超える企業の投資を呼び込むなど、確かな成果を挙げております。今後も、戦略的な企業誘致の推進や中小企業等の稼ぐ力の強化など本県の経済発展に資する取り組みに努めてまいります。

また、エネルギーや原材料価格の高騰など、先行きの見通しが不透明な厳しい環境にはありますが、官民連携によるカーボンニュートラルへの対応や県民が利便性を実感できるDXの推進など、本県の持続的な発展に結びつく施策も積極的に進めてまいります。

そして、可能性があり、だれもが夢を持って挑戦できる社会、すべての県民が明るい笑顔で暮らすことのできる「生き生き岡山」の実現に向けて一步一步、着実に進んでまいりたいと存じます。

皆さま方におかれましては、この30周年を契機とし、豊かな感性と柔軟な発想、行動力により、人づくりや地域づくりに一層のリーダーシップを発揮されるものと大いに期待しております。

結びに、岡山商工会議所青年部の今後ますますのご発展と、会員の皆さま方のご健勝、ご活躍をお祈りし、お祝いの言葉といたします。

ご 祝 辞



岡山市長

大森 雅夫 様

このたび、「岡山商工会議所青年部」が創立30周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

岡山商工会議所青年部におかれましては、平成5年の創立以来、30年の長きにわたり、地域経済の振興とまちの発展に多大なご貢献を果たされており、皆様方の熱意とご尽力に対し、改めて深く敬意と感謝の意を表する次第です。

皆様方の呼び掛けにより、市民の郷土・岡山への愛着と誇りを育み、魅力あるまちづくりの契機とするため、平成24年に制定した「岡山市民の日」は、昨年6月に10周年の節目を迎え、新たに作成されたPRロゴマークを用いながら、多数のイベントや啓発活動が行われるようになっており、その定着を実感しているところです。

岡山市では、長引くコロナ禍や物価高騰が続く中、感染拡大防止、事業者支援、市民生活支援の3つの柱に沿って、市民の暮らしを守り、地域経済を再生するための施策を機動的に講じてまいりました。

まちづくり全般では、昨年のハレまち通りの完成や岡山城のリニューアルオープンには、多くの方々に新たなまちの魅力を体感していただくことができました。今年は、岡山駅への路面電車乗り入れ・東口広場リニューアル工事の着工、岡山芸術創造劇場ハレノワのグランドオープンが予定されており、また活発な民間開発の動きとも相まって、県都岡山のまちの大きな変化を感じていただけるものと思っています。

こうした中、明るく躍進する岡山市の未来像を描くためには、皆様方のような若さとリーダーシップを兼ね備え、地域に対する理解や行動力にあふれる人材が欠かせないものと考えております。

今後とも、皆様方が掲げる「Paradigm～次なるステージへ～」のスローガンの下、より一層、市政へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、栄えある創立30周年を契機とされ、岡山商工会議所青年部のさらなるご発展並びに会員の皆様方のますますのご健勝とご活躍を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

ご 祝 辞



岡山商工会議所 会頭
松田 久 様

創立30周年おめでとうございます。発足当時80名だった会員数も今では300名を優に超える全国でも有数の組織に成長され、人材育成、まちづくりの面で大きな影響力を持つ力強い団体になられたことを誇りに思います。YEGを直訳するとまさに「若き起業家集団」であり、閉塞感漂う日本の未来に明るい光を当てる希望として、きら星の如く輝く存在です。これもひとえに、歴代会長をはじめ、役員、会員の皆様方のひとかたならぬご努力の賜物と深く敬意を表する次第です。

思い起こせば、発足当時の日本は、政治面では非自民の細川連立政権が誕生・崩壊するなど不安定な状況であり、経済面では1ドル100円時代が到来し、バブル経済の崩壊で景気の後退局面が顕在化したことで企業はリストラに拍車をかけていました。反面、皇太子殿下、雅子様のロイヤルウェディングによって日本中が歓喜に沸き返り、サッカーJリーグの発足によるサッカーブームの到来、新幹線「のぞみ」が東京ー博多間開業するなど明るいニュースもありました。

では30年の月日が経過した現在がいかかと言えば、コロナ禍を含む各種天災の連鎖、ロシアとウクライナ戦争、円安による原材料高騰、物価高騰、そして終わりの見えない金融緩和策などが矢継ぎ早に現れ、さらには中小企業の低生産性、東京一極集中、少子高齢化、過疎、環境破壊に対するSDGs、出口戦略としてのDX、GX、CN(カーボンニュートラル)などの課題が噴出し、この時代をいかに乗り越えるか叡智の結集を迫られています。

昨年、Jリーグの発足以来30年の年月を積み重ねてサムライブルーがヨーロッパの強豪国を倒したように、いつの時代でも、日本に生きる若者たちは、どのような困難に際しても真正面から挑み、新たな時代を切り開いてきました。そして、その瞬間に立ち会った人々に希望を与え、からだが震えるくらいの感動を与えてきました。

困難な時代は今後も続きます。今の子供たちの将来にも、そしてその次の時代の子供たちにも困難は降りかかり、大変な時代を生きていくことでしょう。しかし、私たち人類は必ず困難を乗り越えて次の時代を切り開いて生きてきました。

かけがえのない地球、親愛なる日本、郷土岡山のレジリエンス。

そのために今、YEGがなすべきことは何か。天敵がいるかもしれない海に、群れの先陣を切って飛び込む「ファーストペンギン」のように、勇敢で、正義感にあふれ、強く、明るい活動を期待しています。

ご 祝 辞



日本商工会議所青年部 会長
西村 昭宏 様

創立30周年を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。これまでの歴史と伝統を受け継ぎ、紡ぎ、繋いでこられた歴代の会長ならびに関係者の皆様には、深く敬意を表します。

また、和氣会長をはじめとする岡山商工会議所青年部の皆様におかれましては、常日頃より日本YEGの活動に対して多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびの創立30周年という大きな節目を契機に、岡山商工会議所青年部がさらなる成長を遂げ、これからも素晴らしい活動を続けてくださることと信じております。

私たちYEGは長引くコロナ禍の中、思い描いた活動ができずに苦しんでまいりました。この先の未来、コロナが無くなることはありません。そして、コロナ禍の前の過去に戻ることもできません。できることは「未来を変えること」です。私たちYEGは今、未来を切り拓く新たな一步を踏み出すことが求められています。

令和4年度の日本YEGは「YEG STORY」～我ら礎。共に創ろう、継ぎ、紡ぎ、繋げる、未来への道導～をスローガンに掲げ、全国の単会活動の支えとなり単会活動の後押しとなる事業を展開しております。

日本YEGは「全ては単会の未来のために」存在しています。コロナ禍で苦しんできた今だからこそ、仲間に寄り添い地域に寄り添い共に歩んでまいります。日本YEGの事業には全国の単会活動の未来への道導となるヒントが必ず見つかるかと信じています。今こそ未来への理想を掲げ、新たなYEGの物語「YEG STORY」を共に創り上げてまいりましょう！

結びに、長きにわたりYEG活動にご尽力されました先輩諸賢をはじめとする岡山商工会議所青年部関係者の皆様に心から敬意を表し、皆様方の企業、地域の益々の発展をご祈念申し上げ、祝辞とさせていただきます。

歴代会長 ご挨拶

岡山商工会議所青年部

平成29年度～令和3年度



第22代会長

佐藤 一平

岡山商工会議所青年部（岡山YEG）創立30周年おめでとうございます。

私が会長を務めさせていただいた平成29年度は、岡山YEG創立25周年の年度でした。そして同時に吉田大助君を日本YEG会長として送り出す節目の年度でありました。スローガンを「THE PRIDE for POWER ～岡山の誇りを地域そして日本の力に～」と掲げ、調和と結束を大切にする岡山YEGの強いチームワークを誇りに、チームワークで得られる力を愛する郷土おかやま発展の為、全国を牽引する組織となれるよう活動しました。

あれからの5年間、新型コロナウイルス感染症と言う誰もが経験したことのない苦難の時期、歩みを止めることなく乗り越え、岡山YEG長期ビジョン（2018～2022）に基づき、一人ひとりが郷土の名も無きHEROES！として活動し、この度の30周年を迎えられたこと、現役の皆さんには心より敬意を表します。

また、この度の30周年と同時に岡山YEGの提言により制定された「6月1日岡山市民の日」も10年を迎える事となりました。この10年間で認知度は上がりましたが、自分たちの故郷である岡山を一人でも多くの人に好きになってもらいたい、という想いは達成できたでしょうか？今後もより発信・連携をし、岡山市民による郷土岡山への愛着度を高め、岡山市民、誰もが知る「6月1日岡山市民の日」を実現してください。

結びに、新たな長期ビジョンの下、これからの5年間、更には10年、20年と、まだまだ先の見通せない世の中かもしれませんが「未来を予測する最善の方法は、自らそれを創り出すことである！」そんな地域を牽引するリーダーとして今後ますます活躍していくことを期待しています。



第23代会長
塚本 晃久

創立30周年 心よりお慶び申し上げます。

これまでの歴史を大切に築き上げていただきました先輩方、温かく包み込んでくれる岡山商工会議所歴代会頭をはじめとする親会の皆様方、様々な活動に対してご支援いただいております行政関係者、地域を愛する様々な団体関係者、そして岡山YEG現役メンバーの皆様方に改めて感謝申し上げます。

私が会長を務めさせていただきました平成30年度は、現在の長期ビジョン1年目のスタート年度であり、岡山YEGとして大きく変革することができる機会を与えられました。それまでの長期ビジョンは「全国大会 吉備の国おかやま大会」を強く意識したビジョンのもと、メンバーが一丸となり、長期ビジョンを見事達成することができた素晴らしい5年間でありました。その勢いを止めることなく、新ビジョンのもと岡山YEGらしく考動し、メンバーが所属して良かったと実感できる団体としてあり続け、そして個人・自企業発展における様々な課題を「Hybrid」というキーワードで挑戦・克服できる1年になるよう、平成30年度のスローガンを「The Hybrid YEG」～“ONE”想いを結び共に未来へ～として掲げました。組織・事業・交流・文化等、不易流行を常に意識しながら変革を続け、無事に平成を締め括り、令和に繋ぐ感謝の1年であったように思います。当時の執行部・理事・メンバーの皆様方に改めて感謝いたします。

結びになりますが、本日無事に創立30周年を迎えました。この岡山YEGを次なるSTAGEに向けて前進・成長させることができるのは、現役メンバーの皆様方です。健康第一で、時間の許す限り考動し、単会・自企業・自身の発展に繋げてください。期待しています！



第24代会長
仁戸田 昌典

創立30周年、誠におめでとうございます。

岡山YEGにとって記念すべき年を現役で迎えることができ、大変嬉しく思います。

私が会長を務めさせて頂いたのは、ちょうど年号が代わった令和元年度でした。日本の歴史にとって一つの節目に会長を務めることを光栄に感じながら、同時に岡山での全国大会から3年が経過、それを支えた先輩方が次々と卒業し、岡山YEGも大きく変化している最中でしたので、何を目標とすべきか悩みながら会長就任の準備期間を過ごしたことを記憶しています。そして私が掲げたスローガンは「MAKE OUR VALUE!～新時代にふさわしい、新たな価値を生み出そう!～」でした。岡山YEGが会員、そして地域にとって必要とされる団体であり続けるため、時代変化に合わせて、新しい価値を生み出す必要がある、そう考えたからです。創立以来、岡山YEGはあきんど塾などによる会員の資質向上、岡山市民の日をはじめとした行政に対する提言など、沢山の価値を生みだし続け、大きな期待を寄せられる団体となりましたが、今後もその期待に応え続けたいという願いと決意を表現したスローガンです。会員の皆さんと想いを共有し活動できたことは、身に余る栄誉でした。

ただ、私の会長任期も後1ヶ月となった、令和2年3月に発生した新型コロナウイルスのパンデミックにより、その後長い間、活動が制限されたことが心残りです。それでも、会員の皆さんが自分達にできることを必死で考え、令和2年度に実施した事業「ビジネスを止めるな!岡山YEG限定YYクーポン」がYEG大賞グランプリを受賞したことは、岡山YEGの高い実力を示すものと言えます。

今後も会員と地域にとってなくてはならない団体であり続けることを心より祈念し、お祝いの言葉とします。



第25代会長
小川 大志

創立30周年、お祝い申し上げます。

私が会長を務めさせていただいた令和2年度は、半世紀を経て再び東京オリンピックが開催されるという、我が国にとっても華やかに盛り上がる年となる予定でした。

ところが一転、得体の知れない新型コロナウイルスが世界中に流行しだし、あれよあれよというスピードで私たちの生活はおろか、経済活動まで一気に飲み込んでしまいました。人と会うこと、握手をすることさえ躊躇される世の中へと変わり、マスクがないと外出できないのに、マスクさえ手に入らない事態に。誰もが初めて経験する急激な変化に右往左往したのを今でも思い出します。

しかし、私たち岡山YEGは諸先輩方が築いてくださった絆と組織力で、この大きく変化した時代を乗り切ろう、乗り越えようと皆で声を掛け合い、脳みそに汗をかきながら、今できること、今だからできることを考え、実行に移しました。

新型コロナウイルスによって変化した世の中は「どちらの意見も正解」ということが多くの場面でつきまとい、決定や実行までのスピードを遅らせる要素はあったものの、岡山YEGは歩みを止めることなく、「ビジネスと交流」、そして「郷土おかやまへの提言」この不変の目的に向かいコロナ初年度を力強く突き進んで参りました。

様々な事業の中、若者らしくこの大きな変化に立ち向かおうと、今こそすべき事業をゼロから計画し実行してくれた「ビジネスを止めるな！岡山YEG限定YYクーポン事業」が全国で一番の事業の証であるYEG大賞を受賞できたのは、岡山YEGの存在意義と人間力を示す素晴らしい実績になったと思います。今後も更に誇れる仲間、誇れる岡山となるよう地域とともに成長し、地域のリーダーとして益々活躍し続ける岡山YEGであり続けてください。



第26代会長
光森 敬祐

創立30周年、おめでとうございます。

創立30周年を迎え、多くの諸先輩方がご尽力されたことが今の岡山YEGの強さだと感じております。また、直近5年間は西日本豪雨災害、新型コロナウイルス感染症など、国民生活が一変する多くの出来事がありました。激動の時代を今日まで走り抜けられたことこそが岡山YEG30年の力だと感じています。

私が会長を務めさせていただいた令和3年度は、新型コロナウイルス感染症2年目の年であり、低迷した経済活動を若い経営者の力で突き進むことを目標に「Bravely advance～新たな挑戦、未来へ前進～」を掲げ、岡山YEG一丸となって突き進む1年となりました。

そのような状況の中でも岡山YEGは、令和3年度に会員数340名を超え、全国でも有数の単会となりました。仲間と共に苦難を乗り越え、新たな事業に挑戦し、YEG活動が日々進化する、会員の誰もが誇れる単会に成長したと思います。令和4年度では、さらなる挑戦として商工会議所青年部第6回全国ゴルフ大会を誘致しました。全国大会吉備の国おかやま大会から7年、新しい世代と共に岡山YEG一丸となって突き進む集大成として、全国から700名超のYEG会員を迎え、大成功を収めました。全国大会の想いを繋ぎ、岡山YEGの成長を支えてくださった諸先輩方、岡山商工会議所をはじめご協力いただいた関係各位の皆様にご感謝すると共に、岡山YEG30年目の姿をご報告させていただきます。

最後に私事ではありますが、残された現役生活を、諸先輩方から受け継いだ想いを後輩に繋ぎ、岡山YEGのさらなる成長を支えたいと思いません。激動の時代の中、これからも様々な苦難や課題を乗り越え、常に地域のリーダーとして、今後も益々ご活躍されますことを祈念申し上げます。

30th ANNIVERSARY

岡山商工会議所青年部 創立30周年記念事業

新卒採用強化プロジェクト

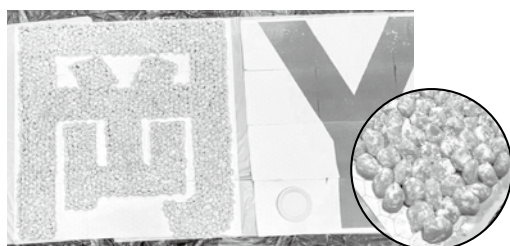


アフターコロナの労働者不足をにらみ、新卒採用力を強化したいと考える会員企業を対象に、全3回の勉強会と合同企業説明会を実施した。

当日の様子は
こちら▼



きびだんごでつくった世界最大単語での ギネス世界記録挑戦



岡山の特産品 きびだんごを使って大きな文字を作り、その数でギネス世界記録に挑戦！

話題性を作ることで岡山の魅力を発信し、岡山の活性化につなげることをねらう。

世界一の
きびだんごを
見る▼



歴代会長からのメッセージ



第2代会長
近藤 典博

30周年慶賀の到りです。岡山YEGは「平成の宝物」です。更に発展する事を期待致します。



第9代会長
吉原 洋二

YEG創立30周年、おめでとうございます。会議所活動を通じて成長してください。



第3代会長
西下 裕平

祝30周年 次代への先導者としてさらなる経済発展の支えとなり、郷土づくりに挑もう。



第10代会長
藤井 一也

若き起業家の集まり。「YEG」その名に負けぬ様、熱き心を持って次の目標に向かって頑張れ!!



第4代会長
石井 英行

YEGとして過ごす「青春は密」です。YEGでの経験を生かして「新しい景色」を目指し頑張ってください。



第11代会長
廣野 景治

「あきんど」としての研鑽と交流を大切に、ますますのご活躍を期待しています。



第5代会長
大塚 祥文

結果を恐れることなく思い切ってチャレンジ！若きアントレプレナーの皆さん頑張れ！！



第12代会長
塩見 泰利

祝30周年！「不易流行」を胸に、未来を見据えたビジョンに向かい、更なるご発展を祈念致します。



第6代会長
梶谷 俊介

青年こそ社会の主役。30年の歴史を力に、ウェルビーイングな社会を創ってください。



第13代会長
延原 正浩

創立30周年誠にありがとうございます。益々のご発展をお祈り申し上げます。



第7代会長
大塚 雅司

創立30周年おめでとうございます。私が10周年の時の会長でした。光陰矢の如しです。



第14代会長
藤井 将登

岡山YEG創立30周年おめでとうございます。「青年部」を熱く楽しんでください。



第8代会長
井上 和宣

魅力的な街とは、魅力的な企業と人が集う街です。YEGの存在価値と可能性を大切に！



第15代会長
黒田 季之

激動の10年間、岡山YEGは大きな飛躍を遂げました。これからも魅力ある団体として岡山の中心的な役割を担ってください。



第16代会長
朝霧 元晴

わが街岡山の魅力向上と発信に
つながる活動を引き続きよろし
くお願いします。



初代会長（西大寺YEG）
木村 基樹

家族、従業員、友人を大切に本業
の邪魔にならない様に、YEG
頑張ってください。



第17代会長
半田 雄三

創立30周年おめでとうございます。
エナジー溢れる益々の成
長を祈念します。



第2代会長（西大寺YEG）
三枝 良

岡山商工会議所青年部30周年
おめでとうございます。益々の
ご発展祈願致しております。



第19代会長
向井 常明

30周年おめでとうございます。
皆様が地域経済の一翼となり
YEGがさらに飛躍することを祈
念しております。



第3代会長（西大寺YEG）
岡田 伸政

創立30周年おめでとうございます。
歴代のメンバーが夢を形
に変えてきた30年！夢なき者
に成功なし！
次なる夢を楽しみにしています。



第20代会長
吉田 大助

YEGを使って使い倒して、自己
成長、自企業発展、地域貢献を
してください。



第4代会長（西大寺YEG）
岡崎 昌仁

YEGが制定した市民の日を中
心に「心の温もりを感じる街づ
くり」を目指して地域を盛り上
げて下さい。



第21代会長
上田 和生

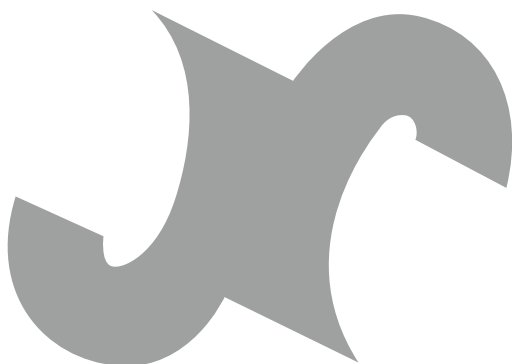
岡山YEG設立30周年おめで
とうございます。35、40周
年へと更なる躍進をご祈念致し
ます。



第5代会長（西大寺YEG）
山崎 昌宏

創立30周年おめでとうございます。
未来に向けてガンバロー！

歴代会長より激励のメッセージを
お寄せいただきました。
ありがとうございました。



第6代会長（西大寺YEG）
根木 克己

YEG30年の歴史・伝統を汚
す事無く、さらなる飛躍を期待
します。



第7代会長（西大寺YEG）
近藤 勝彦

創立30周年を迎えましたこと
に心よりお祝い申し上げます。



第8代会長（西大寺YEG）
山本 岩男

30周年おめでとうございます。
YEGでの経験を自社のこれか
らに生かしてください。

岡山YEG年表				西大寺YEG年表			
年度	歴代会長	会員数	スローガン	年度	歴代会長	会員数	スローガン
平成5年度	初代 大倉 推	80名		平成5年度			
平成6年度	第2代 近藤典博	141名	大好き岡山、住みたい街、 魅力ある会社作り	平成6年度			
平成7年度	第2代 近藤典博	141名	地域の宝となろう、 友達になろう、学ぼう	平成7年度			
平成8年度	第3代 西下祐平	172名	よっしゃ岡山、にぎわいのYEG	平成8年度	初代 木村基樹		
平成9年度	第3代 西下祐平	201名	よっしゃ岡山、にぎわいのYEG	平成9年度	第2代 三枝 良		
平成10年度	第4代 石井英行	201名	組織を固め、中味から熟しよう、 厳しい時代に温かいYEGを創ろう 殻を破り、新しい地域経済戦略を模索しよう	平成10年度	第2代 三枝 良		
平成11年度	第4代 石井英行	201名	益彩都!! 岡山	平成11年度	第3代 岡田伸政		人さがし、人づくり、人は地域の宝物!
平成12年度	第5代 大塚祥文	201名	繋ごうOKAYAMA, man power 2000	平成12年度	第4代 岡崎昌仁		人さがし、人づくり、人は地域の宝物!
平成13年度	第6代 梶谷俊介	172名	What's YEG!! みんなで考えよう、岡山YEG、 そこから新しい世界が見えてくる	平成13年度	第5代 山崎昌宏		夢の21世紀となる為に……
平成14年度	第7代 大塚雅司	179名	LET'S BUSINESS	平成14年度	第5代 山崎昌宏	47名	夢の21世紀となる為に……
平成15年度	第8代 井上和宣	185名	若きビーバー達 さあ 歩み始めよう!	平成15年度	第6代 根木克己	57名	夢ある西大寺
平成16年度	第9代 吉原洋二	196名	感動の舞台を今! あなたが! ～縁～	平成16年度	第6代 根木克己	64名	'THINKING TRY' 考えて、行動する
	日本商工会議所青年部 第22回全国会長研修会 岡山CONFERENCE 開催						
平成17年度	第10代 藤井一也	214名	見直そう足元を! 見つけ出そう宝物!	平成17年度	第7代 近藤勝彦	59名	商 健 笑 勝
平成18年度	第11代 廣野景治	218名	スキルアップYEG ～輝け若き企業家たち～	平成18年度	第8代 山本岩男	52名	再考! 倫理観、まちづくり、 そしてビジネス
	岡山・西大寺YEG 合併						



岡山YEG年表 (岡山YEG・西大寺YEG合併後)				
年度	歴代	会長	会員数	スローガン
平成19年度	第12代	塩見泰利	263名	ステップアップ! 新岡山YEG! ～自身も、会社も、私のまちも～
平成20年度	第13代	延原正浩	262名	We are YEG! ～おかやまに誇りを! 挑もう! 日本一!!～
平成21年度	第14代	藤井将登	275名	VALUE UP YEG!
平成22年度	第15代	黒田季之	279名	FOR OUR DREAM ～創ろう「夢の岡山物語」～
平成23年度	第16代	朝霧元晴	285名	We Love Okayama We Love YEG!
平成24年度	第17代	半田雄三	290名	Yes! We are Dreamin' 夢中になり、共に感動しよう。
平成25年度	第18代	江藤幸輝	300名	新岡山創造宣言 私たちが創る、岡山の未来
平成26年度	第19代	向井常明	287名	LINK-UP GET E3! 多種多様な結束と連携により 楽しみ(ENJOY)と感動(EMOTION)と進化(EVOLUTION)を!
平成27年度	第20代	吉田大助	282名	超える ～ Beyond the infinity ～
	日本商工会議所青年部 第35回全国大会 吉備の国おかやま大会 開催			
平成28年度	第21代	上田和生	272名	～ We Change Now ～ 今を変える "NEO岡山YEGへ 全てはそのために今!"
平成29年度	第22代	佐藤一平	311名	THE PRIDE for POWER 岡山の誇りを地域そして日本の力に
平成30年度	第23代	塚本晃久	333名	The Hybrid YEG ～ "ONE" 想いを結び共に未来へ ～
令和元年度	第24代	仁戸田昌典	327名	MAKE OUR VALUE! ～ 新時代にふさわしい、新たな価値を生み出そう! ～
令和2年度	第25代	小川 大志	334名	Purpose and Human Power ～ 「今から」を築こう 次なる一歩のために ～
令和3年度	第26代	光森 敬祐	340名	Bravely advance ～ 新たな挑戦、未来へ前進 ～





活動紹介



2017
H29
年度

8月21日 岡山国際交流センター
**「自社の健康状態を知ろう
～決算書の見方(味方)～」**

講師：
銀行取引コンサルタント
上田 真一氏



自企業発展を目的とした勉強会として、まずは決算書を読み解く力を向上させ、『自企業の経営力向上に繋げよう』と考え、金融機関経験者である講師よりご講演いただいた。

講義内容は、企業を経営する上で、決算書の理解がとて重要であることや金融機関から見た決算書の見方など、参加者が今日明日からでも始められるもの。

参加したメンバーからは、「元銀行員の着眼点はとても新鮮で、非常に分かりやすく勉強になった」「『利は元にある』経営者として現状の数字を読み解き、今後の業務に生かしたい」などの感想があった。

12月4日 岡山シンフォニーホール
**岡山商工会議所青年部25周年記念事業 橋下徹氏講演会
「地域経済の展望～これからの地域の在り方～」**

講師：
橋下 徹氏



橋下氏は「自治体が公共用地や公共財産などを民間に開放することで地域は活性化できる」と話し、大阪府知事・大阪市長時代に取り組んできた大阪城公園西の丸庭園でのフリースタイル・モトクロスや天王寺動物園のナイトZOO、御堂筋でのF1カーイベントなどの活性化策を紹介。「税金を投入せず、民間による柔軟な発想で土地や財産に付加価値をつけてGDPを増やすことができた」と振り返る。最後に「ここにいる岡山YEG会員をはじめとした若手経営者の皆さんが、行政に積極的に掛け合うことで知事や市長の決断を動かし、岡山の活性化につなげてもらいたい」と呼び掛けた。

30th ANNIVERSARY

あきんど塾

あきんど塾とは？

地方の経済活性化には、地域に根を張った商工人(あきんど)の活性化が不可欠との思いで「あきんど塾」と称して定期的に会員勉強会を実施している。

外部の著名な講師や地元の経営者の方をお招きすることに加え、岡山YEGの会員が講師を務めることで、より身近な話題に触れる学びの機会も持ち、コロナ禍以降は、オンラインを活用した勉強会も実施した。

2018
H30
年度

8月27日 ANAクラウンプラザホテル岡山
**「仲間から学ぶ苦労体験
～明日に繋がる学び～」**

講師：
オーニット(株) 代表取締役
仁戸田 昌典(副会長)
(株)ウエザイ 代表取締役
上田 和生(常任理事顧問)
(株)暁工業 代表取締役
木下 聖士(理事委員長)



3名の現役役員が、自身の苦労話や成功体験などを講話。その後、パネルディスカッションも開き、参加者は少しでもヒントを得ようと聞き入っていた。今後もこのように仲間から等身大の話を聴くことから学びを得たい。



1月31日 岡山国際交流センター
**「『仕事とお金と人間関係』
～ここでしか聞けない本音トーク～」**

講師：
(株)ウエザイ 代表取締役
上田 和生(常任理事顧問)
(株)暁工業 代表取締役
木下 聖士(理事委員長)



2月19日 岡山国際交流センター
**「『BOSSと呼ばれるようになった訳』
～仲間に聞いてみる
事業承継と組織創りのお話～」**

講師：
(株)双葉店飾社 代表取締役
佐藤 一平(直前会長)
(株)ビザビ 代表取締役社長
吉田 大助(常任理事顧問)



※氏名の後ろの()内は当時のYEG内における役職

2019
R1
年度

8月26日 岡山国際ホテル

「新時代あきんど塾 ～なるほど!ザ・ワールドビジネス～」

講師：国際経済学者 伊藤 元重氏

伊藤氏は昨今の国際情勢について「日韓、米中など政治は大きく動いているが『政冷経熱』で経済は関係なく熱い」ときっぱり。「日本は諸外国と比べ潜在成長率が低く、生産性が下がり続けている」とし、要因について20年前からビジネスモデルが変わっておらず、余剰貯蓄が多いことを指摘。10年、20年後に生き残れるよう、資金アップや研究開発、M&Aなどへ積極的に投資し、環境問題やIT化など著しい変化への対応力を高めることの重要性を説いた。

また、グローバル化のキーワードに「グラビティ(引力)」を挙げ、「実際の引力は距離が近かったり、大きなものほど強くなるが、貿易でも同じことが言える」と、近国の中国や台湾、韓国、東南アジア諸国の重要性を強調。「アジアのマーケットは10～15年で中間所得層、富裕層がおおよそ10億人増え拡大している」とし、「積極的に海外に出向き、どの地域や国とグラビティを持つかを

見極めてもらいたい」と話した。
6年間、政府の経済財政諮問会議に出席していた同氏の分析力と分かりやすい解説が聞け、自社の経営戦略を立てる上でのヒントが得られる充実の会となった。



2月14日 岡山国際交流センター

「経営者のための
ホスピタリティ・マネジメント」

講師：
ホスピタリティ&
マナー・ラボ代表
長澤 さおり(委員)



2020
R2
年度

1月21日 岡山国際ホテル・オンライン

「今からを築く!
未来創生あきんど塾」

DX導入事例紹介者:

(株)三幸工務店
井上 賢二(委員)

ビジネスセンター岡山
岡本 浩数(委員)

岡山中央水産(有) 代表取締役
熊原 貴紀(委員)

(株)万治モーターズ 代表取締役社長
万治 誠(OB)



テーマはITを活用してビジネスモデルや組織を変革する「DX(デジタルトランスフォーメーション)」で、中小企業の取り組みについて現役、OB合わせて4人のメンバーの事例から学んだ。会員企業の取り組みを知り、DXを身近に感じ自社への導入イメージが得られるなど気付きの多い有意義な事業となった。

2月25日 岡山国際交流センター

「YEGを
ツカッテ!つかって! 使い倒す
ビジネスチャンスの掴み方～」

講師：
(株)ビザビ 代表取締役社長
吉田 大助
(相談役・第35代日本商工会議所青年部会長)

事例紹介者：
福森 英樹(理事委員長)
釜口 竜雄(理事委員長)



日本YEGへの出向経験を基に、YEGの価値や設立趣旨について触れ、そのうえでYEGでの人脈をどうビジネスにつなげていくかを解説。現役メンバー2人の企業事例も取り上げ、より身近に使い方が感じられる内容となった。
改めてYEGに入会している価値や活動の目的を考えるきっかけが得られ、「使い倒し方」について学べる有意義な事業だった。

2021
R3
年度

9月24日 オンライン

「魁!!Zoom塾」

講師：
小林事務機(株) 代表取締役
小林 功昇(監事)

(株)エムディエス 代表取締役
田辺 一雄氏
(福井県連 鯖江YEG)



2月2日 オンライン

「やさしく学ぼう、楽しいBCP教室」

講師：
(株)小坂田建設 代表取締役
小坂田 英明(常任理事)

公協産業(株) 代表取締役
小川 大志(直前会長)



10月25日 ANAクラウンプラザホテル岡山・

岡山コンベンションセンター・WEB中継

「売り方が変われば、市場が変わる」

講師：
ダイヤ工業(株) 代表取締役社長
松尾 浩紀氏
(株)アイスライン 代表取締役
石井 秀典氏



ゲストスピーカーに地元企業の経営者をお二方お招きし、コロナ禍においても前進し続ける会社の取り組みについて拝聴した。この時期は、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として会場を2か所に分け、参加困難な会員はWEB視聴にて開催した。



※氏名の後ろの()内は当時のYEG内における役職

岡山市民の日

2017
H29
年度

通年

チラシ配布啓発活動

- 西大寺マラソン
- 岡山市周辺
- 京橋朝市

6月1日 アークホテル岡山

岡山魅力発見 ミーティング

会員に向けて、
市民の日のあゆみ・歴史を
映像で振り返り
岡山の魅力PRビデオ

- 258名(内津山YEG18名)



7月1日~12月9日

第3回愛ラブおかやま川柳

- リットシティビル2階 ひかりの広場にて
表彰式
- 応募総数
1,481作品



12月11日 岡山国際交流センター

市民の日ビジョン策定会議

- 歴代理事12名、平成29年度理事6名等 計22名参加
- 「岡山市民の日」の向かうべき目標やビジョンを提案
- 次年度より手帳へ掲載

2018
H30
年度

通年

チラシ配布啓発活動

- 京橋朝市
- 岡山市民デー
- ファジアーノ岡山(岡山駅周辺)



6月22日 岡山国際ホテル

6月1日岡山市民の日シンポジウム

- 会員208名 推進協議会13名 岡山盛り上げよう会2名
- パネルディスカッション



9月6日 岡山商工会議所

岡山市民の日推進協議会 再構築におけるミーティング

- 高谷副会頭 高橋専務理事 須々木部長 他YEG関係者計18名
- YEGの普及啓発活動の現状について
- 推進協議会の骨格作りについて
- 10周年に向けた取り組みについて

2月13日岡山商工会議所

6月1日岡山市民の日推進協議会

2018
H30
年度

2019
R1
年度

通年 普及活動

- 西大寺マラソン
- 岡山駅周辺
- ファジアーノ岡山 岡山市民デー



4月~6月

岡山駅 デジタルサイネージ での普及活動

6月~11月 第4回愛ラブおかやま川柳

- 応募総数1,777作品 小中学校1,565作品/高校133作品/一般79作品
- 各部門の金賞作品は梶原乳業(株)の牛乳パックに印刷

5月20日 岡山商工会議所 6月1日岡山市民の日推進協議会総会

6月1日 岡山駅周辺PR

- 岡山市・岡山青年会議所・岡山商工会議所女性部とチラシ配り
- ファジアーノ岡山 岡山市民デー & 岡山市民の日コラボ企画
- ピンバッジ作成



8月4日 うらじゃまつりバックパネル協賛

2017
H29
年度

2022
R4
年度

2021
R3
年度

2020
R2
年度

2020
R2
年度

5月19日～6月21日

デジタルサイネージを 放映

- 岡山市との協働により
岡山駅周辺及び
各区役所にて



6月1日岡山市民の日 PRアンバサダー

- 協働事業の強化、岡山市民の日関連事業に参加しPR
- 広報事業の強化
マスコミやSNS上での
PRを行う
5名のアンバサダーを
任命



2021
R3
年度

通年

- 普及活動 ●デジタルサイネージ
- PRアンバサダー

6月～12月

第5回愛ラブおかやま川柳

- 商工会議所にて表彰式を行う
- 応募総数2,856作品



翌2月中旬～3月中旬

知ってもらおう 岡山市民の日

- 岡山市民の日PR広告掲載



「6月1日岡山市民の日」推進目標

岡山市民による郷土岡山への愛着度を高めよう

一日だけでも「岡山」のことをしっかり考えようとして制定された「6月1日岡山市民の日」を活きたものにしていこう。

目指すべき姿(ビジョン) (2018～2022)

市民ムーブメントをおこそう!!

郷土岡山の愛着度を高めるため、ともに活動するための枠組みを作り、岡山市民自らが岡山について考え、行動を起こしたくなる仕組みを作ろう。

2022
R4
年度

4月～

実行委員会の立ち上げ

- 岡山市、岡山商工会議所とともに
普及活動の実行部隊組織の
立ち上げ
- 岡山市民の日ロゴ制作



5月～

Instagramによる 岡山魅力発信活動

- 2,230 フォロワー獲得(令和5年2月現在)

Instagram
アカウント



5月18日～6月1日

普及活動

- 新デザインチラシの配布
- 岡山駅及び各区役所デジタルサイネージを放映

6月1日 岡山シンフォニーホール

岡山市民の日セレモニー

- 例会にて過去10年の振り返り
- 岡山市長よりこれまでの活動に対する
感謝状 拜受



11月～

第6回愛ラブおかやま川柳

- 応募総数12,000作品突破
- 各部門ベスト10作品発表予定
- 令和5年6月1日入賞作品発表予定

政策提言活動

2017
H29
年度

岡山市に必要とされる団体として、次代へ繋がる岡山の経済と地域の活性化に繋げていく「だったらいいな」を現実にする。

政策提言ディスカッション 7月27日 ANAクラウンプラザホテル岡山 参加人数222名

『「だったらいいな」を現実に!』と題し、自由に話し合うことで政策提言に触れてもらい重要性の理解と意識向上を目的に実施された。



岡山市職員との談話会

3月19日 岡山市役所 岡山YEG参加人数14名

それぞれの置かれた立場による観点から意見を話し合う機会として岡山市職員の方々とは語り合う場を設けることで、会員同士による結束力の向上に繋げることができ、岡山市と連携して地域の課題を解決するための有意義なものになった。



岡山市へ提言書を提出

次代へ繋がるまちづくりを行っていくことが必要という観点から、『魅力と賑わいに溢れたまちづくり』というテーマの元に提言書を作成し岡山市に提出した。

そのプロセスの中で会議体メンバーは勿論のこと、多くのYEGメンバーが政策提言に関心を持つことができた。

2018
H30
年度

ビジョン政策提言会議

岡山YEGは会員数が300名を超える大きな単会となり、YEGが行う政策提言について見つめなおす必要があった。そのため、会員一人一人のアイデアを集約して関係各所とのより良い関係づくりの構築を行った。

新長期ビジョンタペストリー作成

4月例会 岡山プラザホテル

新長期ビジョンをしっかりと浸透させるために、発信アイテムとして新長期ビジョンタペストリーを作成した。例会会場にて新長期ビジョンのタペストリーを掲げることで、岡山YEGのシンボルとして長期ビジョンの重要性を示すことができた。また、新長期ビジョンバッジも作成した。



岡山市と岡山商工会議所青年部との意見交換会 1月29日 岡山市職員研修所 参加人数31名

岡山市6名・岡山YEG25名にて、過去の政策提言についての評価と今後の政策提言に関する期待、要望についての話し合いが執り行われた。政策提言へ反映していくことで、両者にとってよりよい関係性を構築することができた。



2019
R1
年度

岡山YEG未来会議

～新時代にふさわしい新たな価値を生み出そう!～

5月28日

ラヴィール岡山 参加人数211名

これまで岡山YEGが行ってきた6つの政策提言を紐解きながら、「政策提言」を行う意義を会員間で再確認した。更に提言を行うに当たって、各会員から意見や自企業の抱える課題抽出を行った。雇用・教育に関する課題が目立ち、特に人材の採用・確保、社員教育に関するものが多かった。



親会への意見書提出

10月8日 岡山商工会議所

岡山商工会議所は創立140周年に際し、岡山市へまちづくり等に関する政策提言書を提出した。

岡山YEGからは、中小企業が人材不足の中で採用に苦戦している中でその幅を広げるために外国人の雇用に注目し、「外国人雇用に伴う国際ショナルスクールなどのインフラ整備(生活支援)」といった意見を提出した。

外国人労働者は家族ごと移住するケースが多い中、国際ショナルスクールをはじめとしたインフラ整備を行うことで岡山へより多くの外国人労働者を迎え入れることにつながるのではないかと考えるもの。



2020
R2
年度

岡山YEG未来会議2020

～「今から」を築こう 次なる一步のために～

11月11日

岡山国際交流センター 参加人数94名

新型コロナウイルス感染症により約7割の会員が影響を受けており、ウィズコロナの中、それぞれが各種給付金・補助金の活用、新たな販路開拓、業態転換新商品開発経費削減などの取組をおこなっていることを確認した。

その中で、新型コロナウイルス感染症対策と併せて、近年多発する自然災害に対する対応策について意見交換を実施。行政は災害時に緊急・短期的に使用できるキャンピングカーなどの移動式スペースを活用することで避難場所やボランティアの休憩場所など緊急支援体制確立に効果があるのではないかと結論に達した。

また、6月1日岡山市民の日推進協議会主催「おかやまストリートネーミングコンテスト」の選考に関わる中で、この道(通り)を起点としてまちのにぎわいを創出するための工夫について意見を出し合い、岡山市中心部の店舗や旧跡などでデジタルスタンプラリーを開催してはどうかとの結論を得た。



岡山市へ提言書を提出

3月16日 岡山市役所市長室

『コロナ禍における緊急災害対策とまちのにぎわい創出の実現』に関する提言書を岡山市に対し、提出。経済活動の自粛と新たな生活様式への転換が求められる中でウィズコロナとアフターコロナを見据えた提言内容となった。



2021
R3
年度

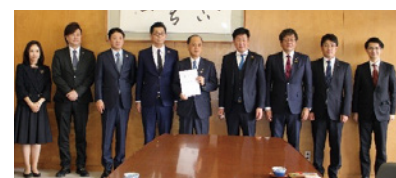
岡山市へ提言書を提出

3月29日 岡山市役所市長室

2019年度事業「岡山YEG未来会議～新時代にふさわしい新たな価値を生み出そう!～」の中で人・雇用に関わる課題を多くの会員企業が抱えていることが分かったが、その課題を深掘りする中でユース世代(中高生)も学校でもない家庭でもない第3の居場所を求めていることが分かった。

双方が能動的に交流できる場が設けられれば、雇用確保とユース世代の県内就職率の向上につながるのではないかと考え、岡山市に対し、『ユース世代と地元企業が交流できるユースセンターの開設』に関する提言書を提出。

能動的に交流できる場を作ることで、労働人口低減への対策の一助となるだけでなく郷土の若い力がしっかりと地元へ根付くようにと願いを込めた。



岡山YEG支援隊

岡山YEG支援隊とは？

応急対応や復旧・復興が必要になる大規模災害が発生し、岡山YEGとして行動する場合、岡山YEG支援隊隊長が隊員を募集し必要に応じた活動を展開する。また、募金活動等を通じて支援金を募り、支援が必要なYEG等に向けて支援している。

岡山YEG支援隊が結成された背景

平成23年3月11日、東日本大震災が発生した際に、理事会の議決を待つことなく、被災地YEGと連携して一刻も早く適切な復興支援活動が継続的にできるよう、平成23年度黒田直前会長が隊長となり支援隊員を募集し岡山YEG支援隊が結成された。

発起人：朝霧元晴・黒田季之・半田雄三・藤井將登

集まった支援隊隊員は、様々な場所での募金活動、フアジアーノ岡山ホーム戦において被災地YEGメンバーの物産を出店し売上金の寄付、現地に向けて依頼があれば直接支援・物資輸送を行うなど様々な支援活動を行った。また、単会としても、現場で活躍している支援隊隊員に対して少しでも金銭的な負担を軽減できるよう、各々が任意で支援隊へ協力する事を目的に、例会会場等においての募金活動が開始された。

岡山YEG支援隊の現在

大規模災害の早期からこのような支援を機動的に行った結果、様々な変化に迅速に対応する事が可能になり、岡山YEG支援隊は多くの被災地YEGから素晴らしいと評価をいただいた。また、今後偶発的に起こるであろう災害に備え、岡山YEGとして迅速に対応するために、直前会長や会長経験者が支援隊隊長となり、募金活動を継続して行う事で、いつでも被災地へ支援金や物資を届ける事が可能となった。地元岡山県でも平成30年7月豪雨災害が発生した際、岡山YEGメンバーの中に被災された方がおられた。支援隊からの支援金に加え、日本YEGから岡山県青連を通して支援の輪が広がり、繋がりを実感する機会となったと同時に、岡山YEG支援隊の重要性を再確認した。

岡山 Y E G 支援隊の主な活動

2011
H23年度

東日本大震災への支援金・被災地視察及び
支援物資輸送・被災地物産展・募金活動

2012
H24年度

アジアノー岡山ホーム戦にて被災地物産展・募金活動

2013
H25年度

伝説のおかやまマルシェにて被災地物産展(岡山YEG事業)
震災復興フォーラム(岩手)への参加(日本YEG事業)
募金活動

2014
H26年度

伝説のおかやまマルシェにて被災地物産展(岡山YEG事業)
震災復興フォーラム(福島・水戸)への参加(日本YEG事業)
募金活動

2015
H27年度

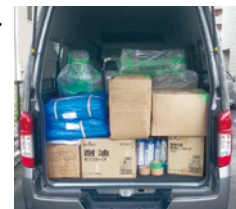
平成27年9月関東・東北豪雨災害(関東ブロック)への支援金・募金活動

2016
H28年度

熊本地震災害(九州ブロック・熊本YEG)への支援金・募金活動

2017
H29年度

平成29年7月九州北部豪雨災害(九州ブロック・朝倉YEG)へ
人的支援及び支援金・募金活動



2018
H30年度

平成30年7月豪雨災害への人的支援及び支援金
北海道胆振東部地震への支援金・募金活動

2019
R1年度

令和元年10月台風19号による
自然災害(東北・関東・北陸信越各ブロック)への
支援金・募金活動



2020
R2年度

令和2年7月豪雨災害(九州ブロック・人吉YEG)への
人的支援および支援金・募金活動



2021
R3年度

新型コロナウイルス感染症予防対策への
支援並びに募金活動



2017
H29
年度

事業一覧

4月6日 岡山商工会議所
「広報担当者説明会」

4月22日 西大寺百花プラザ周辺
「西大寺マラソン
ボランティアスタッフ」



5月11日 岡山商工会議所
「第一回明日の岡山YEGを考える
会議『明日岡ストーリー』
～これからのあゆみのために～」



6月3日 シティライトスタジアム
「ファジアーノ岡山 観戦ツアー」



6月21日 倉敷アイビースクエア
「3YEG合同交流会」

7月27日 ANAクラウンプラザホテル岡山
「Let's catch up!
～『だったらいいな』～を
現実に!～」



8月26日 ホテルモナーク鳥取
「R53リレーション交流会」

9月19日 岡山国際交流センター
「時代へ繋げる政策提言に向けた
岡山市職員との懇親会」

9月28日 岡山プラザホテル
「日本YEG交流会
“岡山の誇りを地域そして日本の力に”

9月
「新長期ビジョン策定」

10月2日
キッチンPACO
「経済金融
記者クラブとの
懇話会」



10月
「現長期ビジョン達成度調査」

10月
「新長期ビジョンロゴマーク
及びムービー作成」

11月7日 岡山商工会議所
「第二回明日の岡山YEGを考える
会議『スマイル検討会議』」

11月18日 高知県立春野総合運動公園
「四国YランドリーグPlus!
こうち大会」

11月21日 カジュアルイタリアン パッジョ
「第三回明日の岡山YEGを考える
会議『U40未来会議』」



1月14日 ジップアリーナ岡山
「岡山シーガルズ観戦ツアー」

2月17日 西大寺公民館及び西大寺観音院
「少年はだか祭り実行委員会
への協力、支援」



2月24日
「商売繫盛!
ビジネスハピネス便利帳の作成」



3月19日 岡山市役所
「岡山市に向けた
時代へ繋がる政策提言」

3月
「新入会員募集リーフレット作成」

例会・懇親会風景



2018
H30
年度

事業一覧

「オリエンテーション委員会 並びにATセミナー」

4月5日 岡山県生涯学習センター
「広報担当者説明会」



4月21日
西大寺百花プラザ周辺
「西大寺マラソンボランティア」

6月～11月 各大学・専門学校
「留学生との意見交換会」

7月
「新長期ビジョン策定に伴う
新PV作成」



8月4日、5日
「『うらじゃ』祭りへの参画」

8月9日 西川荘
「岡山市産業観光局と
岡山商工会議所青年部の懇談会」



8月22日 シティライトスタジアム
「ファジアーノ岡山 観戦ツアー」

8月～
「岡山YEGメンバー
FBビジネスページ
開設及び運用」

9月18日 岡山国際交流センター
「岡山市職員との懇話会」



10月以降の例会
「ビジネスマッチングに繋がる
商売繁盛PRパネルの作成」

10月28日 岡山商科大学体育館
「自分を知らう!!
体力測定&ドッジボール大会
～目指せ! 10歳若返り～」

11月3日 河野別府公園市民グラウンド
「Yランドリーグ全国ソフトボール大会」

11月11日
「岡山マラソンボランティア事業」



11月22日 岡山商工会議所
「明日の岡山YEGを考える会議」

12月17日 アークホテル岡山
「ふるさと納税についての勉強会」

1月13日
ジップアリーナ岡山
「岡山シーガルズ
観戦ツアー」



1月29日 岡山市職員研修所
「岡山市と岡山商工会議所青年部との
意見交換会」

1月
「新入会員募集リーフレット作成」



2月12日 THE STYLE
「マスメディアとの懇話会・交流会」



2月16日 西大寺公民館及び西大寺観音院
「少年はだか祭り実行委員会への
協力、支援」

3月28日 岡山国際ホテル
「卒業生を送る会」



例会・懇親会風景



2019
R1
年度

事業一覧



「ATセミナー」



「Make Up Body
～月1回の保健室」

自身の健康増進を意識して改善していくことを目的とした例会時に講座を行った。

5月28日 ラヴィール岡山

「岡山YEG未来会議
新時代にふさわしい
新たな価値を生み出そう」



「アスオカ通信発行」



6月1日 シティライトスタジアム
「ファジアーノ岡山 観戦ツアー」



8月3日、4日 岡山市内
「うらじゃ祭りへの参画」

9月27日 又来軒

「10年続く!
岡山YEGメンバーと
岡山市職員の交流会」



10月21日 ホテルグランヴィア岡山

「Everybody!
Let's Collaborate!
みんなで連携しよう!」



10月31日 THE STYLE
「マスメディア交流会」



11月10日 岡山ビッグカメラ前
「おかやまマラソン
ボランティア事業」

11月24日 ジップアリーナ岡山
「岡山シーガルス観戦ツアー」

11月27日 アークホテル岡山
「JETROを活用した、
海外展開の第一歩」

JETRO職員を講師に迎え、海外ビジネス展開に関するサービスの活用方法や支援内容の説明と、実際に支援を受けた岡山YEG会員の実体験を話して頂いた。

2月7日 ルネスホール
「大人の郷土祭
～祭りの歴史が今ここに～」

うらじゃ、会場の講話から始まり郷土の祭りを紹介したPRブース、うらじゃ連の演舞鑑賞とうらじゃ総踊りを体験。

2月14日 はだか祭り会場
「少年はだか祭り実行委員会への
協力、支援」

例会・懇親会風景



2020
R2
年度

事業一覧

新型コロナウイルス 対策本部 設置の背景

全世界で猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症は、令和2年4月末時点でも収束の兆しが見えず感染拡大を続けていた。また感染拡大だけでなく、経済においても大きな打撃を受けており、私たちの地域、そして岡山YEGの会員企業も大きな影響を受けていた。会員からも感染予防策・補助金や助成金などの情報提供、そしてZoom等を活用したテレワークの導入サポートに加え、会員企業がこの危機を乗り越えるための方策など、多くの要望が来ており、岡山YEGとして新型コロナウイルス対策本部を設置し、会員・会員企業の少しでも役に立つ取り組みと行動が必要とされていた。

- ① 補助金・融資・労務に関する
お困りごと支援 専門支援先の紹介と
会員に向けての情報発信

- ③ Zoom等を活用した
テレワークの導入と使い方支援
WEBを利用したZoom等を活用した
テレワークの導入・使い方を支援



- ② 入手困難品の手配と最新情報発信
第1弾は会員向けにマスクの配布
入手困難品の入手先最新情報の発信等



- ④ 会員間の連携強化、会員企業のビジネス支援
業種問わず会員間での取引増、
売上増につながる取り組み、仕組み作り

- ・対策本部の設置
- ・楽しいZoom体験会
- ・テレワークセミナー

例会・懇親会風景



2021
R3
年度

事業一覧



4月9日 岡山県立図書館
「ATセミナー」

4月9日 岡山県立図書館
「広報担当者セミナー」



7月21日 岡山国際ホテル
「ブレイブリーマーケット」



7月18日 シティライトスタジアム
「ファジアーノ岡山 観戦ツアー」



9月22日 アークホテル岡山
「今こそ学んで実践 SDGs!」

9月24日 オンライン配信
「魁!!Zoom 塾」

10月5日 岡山県立図書館
「ATセミナー」



10月19日 岡山国際交流センター
「郷土の名も無き HEROES!物語」

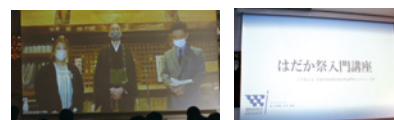
11月2日 岡山国際交流センター
「歴代会長から学ぶ
長期ビジョンへの道標」



11月8日 岡山国際交流センター
「レッツビジネス!隣のYEGと
新規事業を創設せよ。」

11月21日 内山下小学校跡
「『うらじゃ』まつりへの参画」

11月25日 ラヴィール岡山
「今こそ学んで実践 SDGs!」



11月25日 ラヴィール岡山
「はだか祭入門講座」

12月15日 岡山プラザホテル
「12月例会・懇親会・
ブレイブリーマーケット」



12月15日 岡山プラザホテル
「岡山YEG 楽しスポーツ大会」



1月24日 岡山商工会議所
「岡山青年団体サミット
～しゃべくり007～」



3月24日 岡山プラザホテル
「卒業会員を送る会」

例会・懇親会風景



30th ANNIVERSARY

2022
R4
年度

事業一覧

3月30日
「広報担当者セミナー」



6月29日 杜の街グレース
「岡山YEGみりよく発見！
～to the next stage～」
「金融リテラシー向上委員会による
誰でもわかるお金の知識勉強会」
「伝統と現代のParadigm
会則から考える新しいYEG」



7月17日 シティライトスタジアム
「ファジアーノ岡山 観戦ツアー」



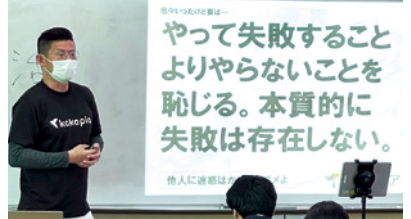
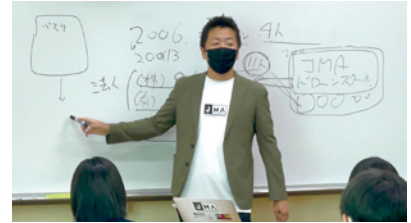
8月～
「レッツビジネス！
パラダイムチャレンジ!!」
～30周年だから30秒で自社PRに挑戦する、
踊る企業家集団なんだからねっつ～



10月～
「明日のスターを探せ!!」



10月18日 岡山国際交流センター
「長期資産形成、
○年後、日本人の常識になる」



10月24日～11月10日 岡山東商業高校
「東商起業体験談授業」



10月26日 ラヴィール岡山
「マスメディアとの交流会」



11月19日 岡山ドーム
「東商デパート」

例会・懇親会風景



第6回全国ゴルフ大会 岡山YEG30周年記念大会

2022年7月29日～30日にかけて、「商工会議所青年部 第6回全国ゴルフ大会 岡山YEG30周年記念大会」を開催した。山陽大会、熊本大会、青森大会、水戸大会、那覇大会に続く第6回大会として大会スローガンに「パラダイスOKAYAMA」を掲げ、執り行った。光森敬祐大会会長、古市聖一郎実行委員長を中心に設営。当日は全国から延べ約500名が参加した。

主催：岡山商工会議所青年部

後援：岡山県・岡山市・一般社団法人岡山県商工会議所連合会・日本商工会議所青年部
中国ブロック商工会議所青年部連合会・岡山県商工会議所青年部連合会

キャラバン

開催にあたって全国からの参加者を募るため、実行委員会メンバーで県内外22箇所の単会・県連などへPR活動を行った。



当日プログラム及び様子

7月29日

前日ゴルフ大会

倉敷カントリークラブ・
岡山カントリークラブ桃の郷コース



前泊者懇親会

ラヴィール岡山



7月30日

本大会

鬼ノ城ゴルフ倶楽部・東兎が丘マリンヒルズゴルフクラブ
後楽ゴルフ倶楽部・たけべの森ゴルフ倶楽部



7月30日

大懇親会 ホテルグランヴィア岡山



誘致に向けた取組みと想い

全国ゴルフ大会の開催に伴い、誘致に向けた取組みや想い、開催に向けた準備などについて古市実行委員長に話を聞いた。



ゴルフ大会HP



ゴルフ大会PV

古市実行委員長

Q1.HPとPVから強い気迫が伝わってきますが、どのような流れで実行委員長を引き受けようと思われましたか？

光森大会会長が4~5年前から誘致に向けて動かれていた。全国大会を知らないメンバーが増えてくる中で、メンバーが一つになれるイベントとして全国ゴルフ大会を誘致しようと思われていたとのこと。そのなかで、大会実行委員長には在籍年数が長く、また残りの在籍年数もまだある古市が適任と指名いただいたので拝命した。

Q2.どのような流れで今回のインパクトあるHPやPVが生まれたのでしょうか？

これまでの全国ゴルフ大会のPRムービーなどを見ると歴史・伝統を重んじたものが多かった。せっかくやるからには、インパクトのある物、岡山YEGらしい物を作りたいと考えた。色々考えていく中で「バブリーな雰囲気、イケイケ感を出したい」という方向性がまとまり、このような形となった。岡山YEGにしかできない雰囲気、楽しさが表現できたのではないかと考えている。

Q3 大会当日や準備中で心に残ったエピソードを教えてください。

多くのメンバーが実行委員会へ登録してくれた。これが何より嬉しく、心に残った。その上でもう少し言うと、事前準備も大変だったが、コロナの第7波が直前で来た関係で、直前変更やそれに伴う対応が多く発生し、実行委員会メンバーにとっては特に大変だったと思う。また、当日はその夏で一番暑かったのではないかと感じるほどの猛暑の中で皆がしっかりおもてなしをしてくれたこと、メンバー同士の絆が深まったと感じている。

Q4 大会を終えての感想を教えてください。

本当に感謝。この大会を通して、全国ゴルフ大会をはじめとした全国会長研修会や全国大会、ブロック大会などの大きな大会を自分たちが実施する意味・意義を改めて理解することができた。このプロセスや経験が岡山YEGの勢いや会員同士の結束力を高めてくれるのだと強く感じる事が出来た。光森大会会長の狙い通りだったと思う。

Q5 その他メッセージありましたらお願いします

現役会員並びにOB・OGの皆様の多大なるご協力・ご協賛いただき本当にありがとうございました。無事大会を盛会のうちに終えることが出来ました。

日本YEGに出向していますが、たくさんの方から「岡山大会はすごかった」と言ってもらえます。それは皆様のおかげだと感じています。本当にありがとうございました。



コロナと向き合う

2019年末から今なお続く新型コロナウイルス感染拡大による影響。6億人を超える感染事例が報告される中、原因や対策が分からなかった初期段階は世界中が大混乱することとなった。岡山経済においても上を下への大騒ぎの中、岡山YEGも半年間対面活動を停止したり新型コロナ対策本部の立ち上げなどを行った。本特集ではそのような中、岡山YEG活動の復活の狼煙となり、第41回全国大会「SETOの都 香川 たかまつ大会」(感染拡大によりオンライン開催)でYEG大賞※を獲得した「動かせ消費・回せ経済!ビジネスを止めるな!YYクーポン事業」(以下、「YYクーポン事業」)に焦点を当てた。

※単会間で会員間の交流・連帯強化を図ることを目的として当該年度に行った事業の中から選出される。

新型コロナウイルスとは何か?コロナショックで激変した世界経済

コロナショックは2019年末、中華人民共和国湖北省武漢市で原因不明の肺炎が複数報告されたことから始まった。世界中に爆発的に感染が広がった新型コロナウイルスの影響により、世界は戦後最悪の経済危機に直面。感染拡大を抑制するために多くの国で渡航制限や外出制限等が実施されたことに加え、国内においても人や物の交流が制限。それにより需要・供給両面からの経済停滞が発生することとなった。観光や宿泊、航空など、人同士が接点を持つ対面サービスで前例の無い規模で需要が縮小。物についても耐久財の需要が急減。一方でオンライン消費や巣ごもり消費の拡大のように新たな消費が生まれるきっかけにもなった。

一方供給面では、人同士のコミュニケーションの制限、人の移動の停滞により生産活動や物流が止まり、物資の不足が生じた。国境を越えるサプライチェーンの途絶も発生。ロックダウン(都市封鎖)や営業自粛に伴って、不要不急のエンターテインメントサービスやレストランのイートイン営業も停止する事態に。

さらに、対面接触を行うサービス業を中心に雇用も大幅な影響を及ぼし、米国では世界金融危機時を越え、1930年代の大恐慌時以来の失業率となった。感染状況の先行きの不確実性・失業の増加・所得の低迷は、消費や投資を急速に縮小させ、危機の連鎖を生んだ。資源や金融市場にも影響を与え、WTIの先物価格については、一時-37.63ドルと史上最安値を記録した。

新型コロナウイルスの感染拡大は各国経済にも大きな影響をもたらし、前例のない低迷に陥った。米国の失業率は戦後最高水準にまで達し、中国では初めてのマイナス成長、欧州ではGDPが2割減の国も見られる事態に。

コロナショックは需給の両面のショックが相互作用して経済悪化が深刻化するもので、主に供給面に影響した東日本大震災や主に需要面に影響した世界金融危機のような過去の経済危機とは異なる全く新しい種類の経済ショックであった。

岡山YEG復活の狼煙 ～YYクーポン事業～

「動かせ消費・回せ経済!ビジネスを止めるな!YYクーポン事業」

上述の通り社会全体の経済活動が著しく停滞したことで会員企業においても、取引や売上の減少・事業縮小など深刻な影響を受けた。会員を対象としたアンケートでも、『青年経済団体として会員相互の互助の精神と行動が必要』との意見が多かった。そこで、業種を問わず会員間での取引拡大と売上増に繋がる取組みと仕組み作りを支援し実現するため、コロナ禍の特別な状況を考慮し、岡山YEG会計から発行費用の一部を負担し、購入を希望する会員に会員内だけで使用できるクーポン券(YYクーポン)を発行。

- ①会員企業への消費活動を促し、会員間での経済活動活性化の起爆剤とする。
- ②クーポン券利用の際に会員企業が提供できる商品とサービスを再調査し「サービス提供リスト」を作成する事により、コロナ後も新たなビジネスマッチングの機会を創出する。



上記2項目を事業目的としたYYクーポン事業を実施した。

YYクーポン券は6,000円(1,000円×6枚)を1セットとし、1セット当り1,000円をYEGから費用負担、会員に1セット5,000円で販売を行った。YYクーポン券には予めナンバリングを行い、購入後の使用追跡・確認が出来るようにした。

事業実施にあたっては実施規模が大きくなることから、ビジネスに関わる2つの委員会合同(ビジネス連携委員会・ビジネス支援委員会)で事業を行う事とし、前者がクーポン券販売業務、後者はサービス提供リストの作成、チラシおよびホームページ作成、クーポン券と現金の交換業務と分担をして行った。

本事業には、岡山YEG会員337名(当時)のうち207名の参加があり、YYクーポン購入者174名、用意した1,348セットが完売となった。集計可能なクーポン券のみで808万円、クーポン事業による新たな会員間の取引を含めると1,000万円の経済効果を会員間に生み出すことができた事が確認された。

事業実施後に行ったアンケート結果によると、23件の「新たなビジネスマッチング」が生まれ、63件の「新しい会員と知り合う機会」を創出できた。また、事業に参加したことにより「新たなサービスを考えるキッカケになった」との回答も22件あった。

事業を実施して、金銭的なメリットでなく、YEGメンバーの連帯感の強さを感じる事ができた。コロナ禍をマイナスと捉えることなく、コロナ禍だから実施できた事業であった。



令和2年度 上野委員長・相澤委員長インタビュー

上野:次年度組織人事が固まる段階で、令和2年度に2つの委員会合同で、企業説明会をして欲しいと頼まれていたんです。当時はコロナ前で、有効求人倍率も1.3倍と高い倍率でした。

相澤:オファーを受けた段階から骨組み作りをはじめていました。でも、蓋を開けてみたら令和元年度3月の最終例会が出来ない!となって。(新型コロナウイルス到来)会長も頭抱えていました。例会だけでなく、理事会も集まることできない中、令和2年4月に岡山YEGでコロナ対策本部を立ち上げることになりました。YEGのメンバーの心が離れないように何かできないか、悩みを抱えた中での発足でした。

上野:令和2年度岡山YEG新型コロナ対策委員会の目的に「会員間のビジネスを止めない、情報・ビジネスを会員間で回そう」というものがありました。私たちに今、何ができるのかと、アンケートを取りまとめることにしました。

相澤:7月末頃、3~4つ候補を挙げた中でスタッフの中でやりたいものをやろうと決めて決まったのがYYクーポン事業でした。「YEG版のGO to EATをやろう」とヒントをくれたのは当時の山田副会長でした。でも、それに対して当時色んな意見が出ました。会費のばらまきではないか、飲食事業者しかメリットがないのではないかと、中には法に触れるのではないかと意見もありました。税理士さんにも相談しながら、全会員にとってメリットがあるようにすることを大切に検討し、実施に至りました。

上野:YEG大賞を獲れたのは、使われる側(サービス提供者)をうまく集められたことだと思います。130~140社のサービス提供者を集めて、最終的には200社近く集めました。

相澤:多くのお金が絡むため、ミスがあってはならないという恐怖心は常にありました。YYクーポン用に銀行で別口座を開設し管理もしました。



YYクーポンPV



YEG大賞受賞御礼

上野:いかに大変だったかは、理事会資料を見ていただければ・・・。
相澤:クーポンは見事完売。飲食事業者に偏らず、様々な業種の方に
使用してもらえ、いい答え(結果)が出て良かったです。

——最後に一言お願いします。

相澤:事業って、仕掛けが楽しいですね。色々な異業種が集まって、
そこに利害関係なくチームワークをもってやる!それがYEG
の楽しさであると思います。

上野:この事業を通して一番良かったのが参加率90%以上だったこと!あのコロナ禍の中で、私たちはそれ
が一番泣けるくらい嬉しかったです。あの苦しい時代のトップが小川さんで本当に良かったです。



令和2年度 小川会長・小林専務インタビュー

——令和2年度はスタートから新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けましたよね

小川:本当にそうです。見えない敵、未知のウイルスへの怯え、様々な
意見。正直正解が何か分からない言った状況でした。4月にス
タートする前から正副会長と専務と何度も相談を重ね、直前会長
や多くの方からアドバイスをいただきました。

4月～半年間、対面での活動は中止しましたが、活動を休止して
いたわけではありません。コロナ禍が始まってすぐの頃は風評
被害も大きいものでしたから、自企業と自身を守る行動が最
優先でした。そのためには、まずは人が集まる機会を作らない
ようにと。そう言った中で、今こそ「YEGに入っていてよかったと
思える活動とは?」を考える時期であると、会員の皆さんにアン
ケートを取り、対策本部を立ち上げ、足りないものや情報の供給
・提供に注力するなど、出来ることを出来る人が行うという活動
をしていたのです。



——専務は、会長決断やその他未経験の対応場面にいらっしゃいましたね。

小林:はい。本当に会長は迅速に対応されていました。議論の場を持つことができない時も全会員・理事へ
アンケートを取るなど、人の声を聞くプロセスを踏まれていました。

それを元に独断ではなく決断ですね。また、この時は誰もが未経験の中で且つ様々な立場からの
意見や未経験の対応もありましたが、親会がしっかりと支え守ってくださいました。

小川:対面活動を中止する判断をしたことは、賛否は当然ありましたが、他単会から、岡山YEGがファースト
ペンギンになってくれたと言ってもらえました。

——令和2年度年を振り返って印象に残っていることは?

小川:対面活動の再開に伴う再決起会で流された、会員の姿を集約
した動画を見た時、熱いものがこみ上げました。また、YYクー
ポン事業ですね。本当に会員が協力しあえる最高の取り組み
でした。YY(ワイワイ)というネーミングも暗く辛い時期を明
るく照らす前向きなもので素晴らしかったと思います。どんな
状況でも力を合わせれば乗り越えられる、失ってもまた作り
出せることを確信させてもらいました。

小林:まさに令和2年度のスローガン『Purpose & Human Power』
(存在意義と人間力)を実感できた年度でした。



岡山YEG長期ビジョン（2018-2022）

私たちはYEG活動を通じて絆を深め、
自己研鑽を積み、ビジネス力の向上を図る。
そして、魅力あるメンバーに成長し、結束力の高い組織を創る。
また、地域経済発展の仕組みを創り、
岡山YEGブランドを確立する。

スローガン

～次代の岡山を切り拓け～

【郷土の名も無きHEROES！それが岡山YEG！】



岡山
YEG
HEROES 2018-22

ビジョン達成のためのHEROES 5カ条

情熱～事業活動は熱意の塊、気持ちに応え参加しよう！

誇り～歴史と文化がここにある、学んで視野を広げよう！

活発～多様性を活かした交流で、自企業発展に繋げよう！

希望～我々だけでは実現できない、政策提言で現実に！

未来～時代変化をチャンスと捉え、さあチャレンジ！

長期ビジョン達成度調査アンケートまとめ

2018～2022長期ビジョン達成度調査アンケートを取りまとめた。(回答者数264名・回答率約80%)

●岡山YEGについて

入会理由については仲間づくり・人脈づくりという意見(140件)があり、ビジネスに繋がりたいという意見(62件)もあった。ついで自己研鑽(44件)、地域貢献(10件)。

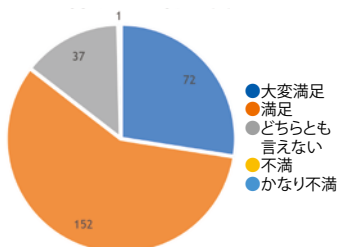
YEG活動・人間関係については85%以上の方が満足していると回答した一方、ビジネスについては60%の満足度に留まった。

岡山YEGの存在意義は意見の多かった順に、地域発展が最も多く(79件)、親睦や人脈作りといった会員同士の交流、ビジネスに繋がりたい、自己研鑽という順で入会目的とは違う結果が得られた。

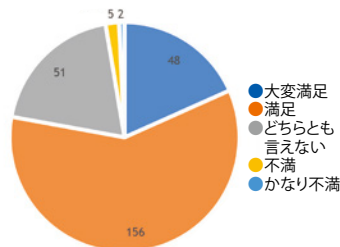
例会については50%以上が満足していると回答。どちらもいえない、不満、かなり不満という回答した会員からは例会時間の短縮、出席率の向上についてのコメントが多くを占めた。また、例会をより厳粛なものにして欲しい、ビジネス寄りの例会にして欲しいという意見も寄せられた。

●アンケート結果グラフ

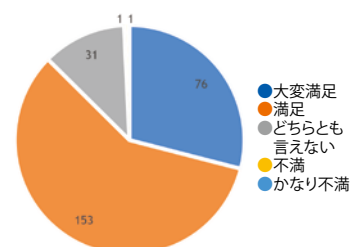
YEG活動への満足度



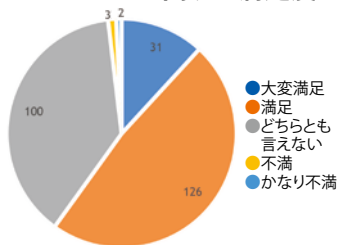
例会について



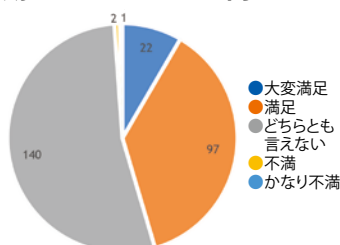
YEGでの人間関係の満足度



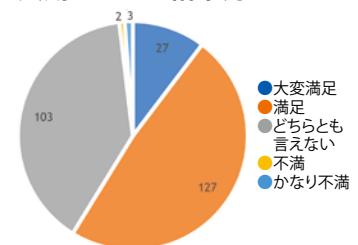
YEGでのビジネスに関する満足度



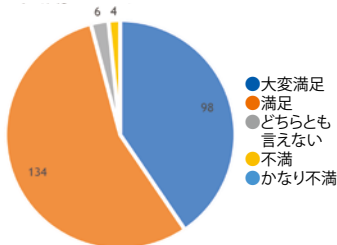
長期ビジョン ビジネス向上



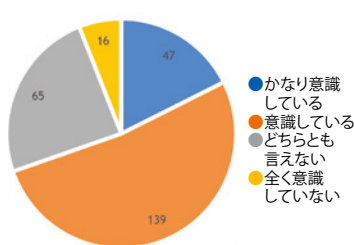
長期ビジョン 結束力



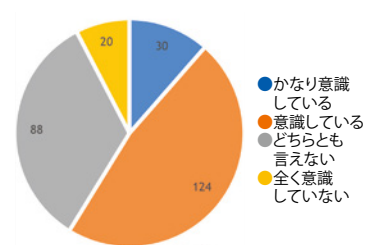
長期YEG ブランド



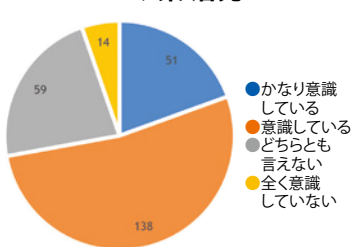
HEROES 5ヶ条 情熱



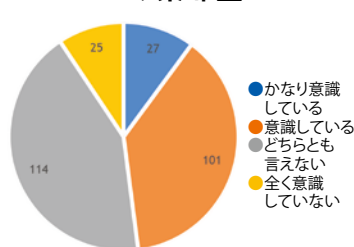
HEROES 5ヶ条 誇り



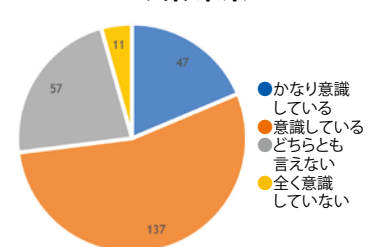
HEROES 5ヶ条 活発



HEROES 5ヶ条 希望



HEROES 5ヶ条 未来



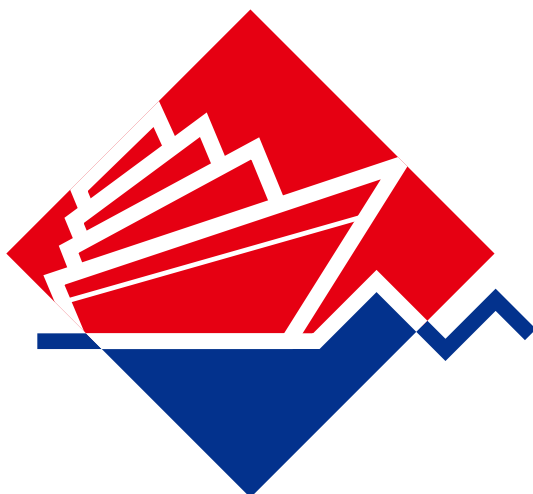
岡山YEG長期ビジョン(2023-2027)

岡山YEGは、全会員が切磋琢磨し、
環境の変化を乗り越えながら新たな価値を創造する団体となる。
また、事業活動や提言を通して会員企業の持続的成長に
寄与することで、地域経済を動かし、郷土岡山の発展に繋げる。

スローガン

Make Active × 岡山YEG

～ 積極的な活動で時代の荒波に立ち向かえ ～



Make Active × 岡山YEG 2023-2027

行動指針

- Act.1 参加しよう……………参加が全ての第一歩
- Act.2 交流しよう……………互いを知り深まる絆
- Act.3 研鑽しよう……………考動を通じた人間力の向上
- Act.4 ビジネスしよう……………連携を活かして自企業成長

さあ、未来の岡山を創造しよう！

長期ビジョン策定の経緯

●前書き

岡山YEG30周年の節目を迎え、長期ビジョンもこの5年間を総括する年度となった。また新たな道標として2023～2027年の5年間の長期ビジョンを策定する年度でもあり、今までの培ってきた経験や伝統・文化などを踏まえ次のステージへと踏み出す必要性を感じている。

長期ビジョンには大きな力がある。それは「ベクトルを合わせる力」、「人を動かす力」そして「夢見た未来を現実にしていく力」である。

私たちは2003年度に初めて長期ビジョンを掲げてから、その長期ビジョンと共に活動し、地域との交流や会員相互の連携を積み重ねてきた。その歴史の中では日本YEG三大事業を全て経験するなど全国でも稀有な単会となり、トライ＆エラーを繰り返しながらも、順調な発展・成長を遂げ、特に2015年度の全国大会「吉備の国おかやま大会」では岡山県連一丸となりその連帯の証を全国に発信できたのではないかと。またコロナ禍で交流を図り辛く経済の活性が低下した時期においても、YEG大賞を受賞した「～ビジネスを止めるな!岡山 YEG 限定 YY クーポン～」などを通じ会員や地域の活性を目指し、歩みを止めることなく活動を続けてきた。長期ビジョンの旗印のもと、様々な事業が生まれ、そして出会いを通して得たものを踏まえて岡山YEGは次のステージに挑む。

●策定にあたり

この長期ビジョンは、2021年度に会員の約8割の声を集めた「長期ビジョン達成度アンケート」を基に今後の進むべき方向の骨子をつくり、今後5年間で起こり得る様々な事象を想定し、当年度委員会内で協議を重ね、岡山YEGが団体として目指すべき姿を表現した。

新型コロナウイルス感染症の出現により、私たちの生活様式や社会全体の仕組みは大きく変化した。これまでの常識は覆り、当たり前のようにできていた人と人との交流が持ち辛い環境となった。そのような環境の中でも、生き残りをかけて、柔軟に対応していかなければならない。

少子高齢化に伴う生産人口減に相反して世界人口は増加の一途を辿り、今までの働き方、雇用などにも変化が起こることが予想されている。世界情勢の変化による経済的な打撃やロシアのウクライナ侵攻などを代表とする平和を脅かす事態。今後も我々を取り巻く環境はより厳しくなっていくのではないかと。

また昨今、天災による被害で事業継続が困難になる地域もあり、我々の住む岡山も他人事ではない。災害発生時の事業継続など対策を講じる必要性もある。

このほかにも様々な変化が起こる事が予想され、それらに対応し共に成長していける青年経済人の団体として岡山YEGは次なる長期ビジョン・スローガン・行動指針を掲げる。

●ビジョンに込められた思い

このビジョンでは大きく2つの目指すべき姿を表現している。

- ①岡山YEGが会員に対してどうありたいか
- ②岡山YEGが地域に対してどうありたいか

まず①では交流がYEG活動の原点であることを再認識してもらい、人と人が交流することで人が磨かれ、さらに交流を通して得られた知識や経験で時代の変化にも適応できる経済人としての成長を促し、新しいビジネスや仕組みを創造していく力になることを目指すことを表現している。

そして②では、岡山YEGならではの多様な会員が知識と経験と情熱を持ち寄り、力を合わせ、事業や提言などの活動に取り組むことで会員企業が持続的に成長を続けることが郷土岡山の発展に繋がること、さらに地域経済は我々が支えるという気概を表現している。

●スローガンで伝えたい事

今回スローガンを「Make Active × 岡山YEG ～ 積極的な活動で時代の荒波に立ち向かえ～」とした。

【積極的に!】や【活発に!】を連想させるMake Activeを岡山YEGと掛け合わせることで、会員・地域にとって相乗効果を発揮し、時代の荒波に打ち勝つという覚悟や、チャレンジングな姿勢を表現している。

予測が難しい荒波の中においても長期ビジョンを羅針盤として、生き残りをかけて積極的に活動し、大きな変化も柔軟に対応し乗り越えるとともに、岡山YEGをこれまで以上に活性化させ、力をかけ合わせ大きなうねりを生みだしていきたいという願いを込めた。

●行動指針について

岡山YEGの長期ビジョン達成を目指す上で、会員がどのような行動をとっていくか順を追って、明確に表現した。

項目をActとしているが、Active(能動)、Action(行動)、Act(《演劇や映画などの》段や幕)の意味を持たせている。

参加しよう

全ては参加することから始まる。積極的に第一歩を踏み出そう。

交流しよう

参加の次に交流。お互いを知り、絆が深まることで次のステップに繋がる。

研鑽しよう

交流することで学びを得て自己を進化させよう。個々の進化と考動で信頼を築こう。

ビジネスしよう

信頼されることで初めてビジネスに結びつく。会員間での連携はもちろんだが、地域や行政とも連携し、各事業を成長させ強い企業を作るとともに、信頼と連帯で強い岡山YEGを作ろう。

ここまでのステップを踏み、成長した力を結集させ、さあ、未来の岡山を創造しよう!

祝

岡山YEG 30周年

おめでとうございます。
ますますのご活躍をお祈りいたします。

岡山商工会議所青年部
OB会一同より

-
- 編集 釜口 竜雄・末永 祐子・岡本 勝美・内海 太郎
坂元 大志・山田健太郎・上野 悟・國方 大輔
熊原 貴紀・霜山 文一・多田 英起・多田羅匠平
二垣 幸広・最上 究・森口 牧子・山内 宣仁
渡邊 雅彦
- 制作 30周年総務・記念誌委員会
- 発行 岡山商工会議所青年部
-

2022
OKAYAMA YEG
30th

